

交換留学報告書

* この報告書に記載される内容は多文化社会学部のウェブサイト等に記載いたしますので、予めご了承ください。

氏名	高畠萌英	学年(渡航時)	3年生
派遣先大学	アバディーン大学		
国・地域	イギリス スコットランド		
派遣期間	2025年9月	～	2025年12月

履修科目

1学期目	
履修科目	授業内容
English Past and Present	英語が中世から現代までどのように変化してきたかを、発音・文法・意味の面から学ぶ。あわせて、英語が世界的に広がった背景や現代英語の研究についても学ぶ。
Language in Society	言語と社会の関係について学び、ジェンダーと言語の関係、言語消滅、言語政策・言語計画などを通して、言語の社会的役割を理解する。
Introductory Psychology I: Concepts And Theory	人間の心や行動について、心理学の主要な理論や概念を学ぶ。生物・社会・認知心理学の講義に加え、チュートリアルで他の学生と議論を行う。

留学レポート(1,500字以上)
<p>【寮生活】 私は Hillhead Student Village にある Fyfe House というアバディーン大学の寮で生活をしていた。ベッドルームは 1 人部屋で洗面台付き、キッチンとシャワールーム、トイレは共用だった。ブロックによって異なるが 5-9 人で共用部分をシェアするため寮内でも友達ができた。 寮費は 107£ / 週、洗濯は別途お金がかかるので注意(これが地味に高い) 寮の敷地内にコンビニのようなものもあるので簡単な買い物はそこでもできた。 また、徒歩 10 分ほどのところに LIDL というスーパーもあったので普段の買い物はそこでしていた。 寮がある Hillhead Student Village にはみんなが使えるバドミントンコートや movie room などもあるのでルームメイトとバドミントンをして遊んだり一緒にハリーポッターを見たりした。</p>
<p>【履修】 履修は、渡航前に受けたい授業を選んで希望順を提出したらアバディーン大学の留学の担当者が授業スケジュールの被りなどを見てなるべく希望が通るように登録してくれた。 授業は先生の講義を聞く lecture と、少人数で意見交換などをする tutorial / workshop に分かれており、tutorial では授業で学んだ内容をもとに、課題の文献を読んでその文献についてのディスカッションなどを行った。 初回の授業では教授のスコティッシュアクセントについていけず絶望したが、毎回授業後に授業の録音がアップロードされるのでそれを活用して復習することでアクセントにも少しずつ慣れていった。 アクセントが多様なイギリスで社会言語学を学べたことは、自分の専門である言語学への理解や疑問を深める貴重な経験となった。</p>
<p>【学期中に行った旅行】 Edinburgh スコットランドの首都。バスで 4 時間ほどで行ける。街中全てがハリーポッターのテーマパークのような雰囲気でとても綺麗なので一回は行ってみることをお勧めする。無料で入れる美術館も見応えがあって楽しい。</p>

Glasgow イギリス発祥のブランド Vivienne Westwood の店舗がグラスゴーにあったので買い物をしに行った。Kelvingrove Art Gallery and Museum という美術館も面白かった。

St. Andrews ゴルフが発祥の地で大きいゴルフコートがある。海沿いの田舎町で城の廃墟などもあるので歴史を感じられる場所だった。

Stonehaven アバディーンの歴史的な港町でスコットランドの田舎町の雰囲気を楽しめる。断崖にあるダノナー城の廃墟もとても美しいので行ってみて欲しい。

そのほかにもバスを乗り継いでスコットランドにある様々なお城を見に行った。普段の旅行ではなかなか行くことのできないような場所にも行けた。

【この大学への留学を希望する人へのアドバイス】

アバディーンはスコットランドの田舎町なのでとても落ち着いた留学生活を送ることができます。最初は慣れないアクセントに苦労するかもしれませんがそれも経験の一つと思って楽しむことができればそのうち慣れてわかるようになります。

また、大学の Go Abroad Office の人たちはとても親切なので授業のことで困っても親身に相談に乗ってくれて、わからないことをメールで問い合わせても迅速に対応をしてくれるので不安なく留学生活を送ることができました。

基本的には治安は良いですが、たまに大学の寮の周りでも大麻の匂いがしたり稀に昼間の街中でも薬物中毒者の姿が見えることがあったので夜は1人ではなるべく出歩かないようにしていました。

現金はほとんど使わず、留学中は基本カードで生活ができました。Wise カードを作つておくと便利だと思います。

冬は極端に日照時間が短く15:30ごろには暗くなり始めて朝も8:30ごろまでは明るくならないので鬱傾向がある人はビタミンDのサプリなどを持っていったほうが良いかもしれません。

イギリスは食べ物が美味しいとよく聞きますが、外で食べたものは基本的にはどれも美味しいです。しかし外食は高いし飽きます。スーパーでは野菜も果物も日本と同じくらいかそれよりも安く買えるので休みの日にハンバーグやミートソース、カレーなど作り置きしやすいものをたくさん作つて平日に食べていました。

留学中の写真(5枚程度) ※写真のキャプションも入れること



グラスゴークリスマスマーケット



Fyvie Castle



大学キャンパス



ハロウィンパーティー



Yoga Society